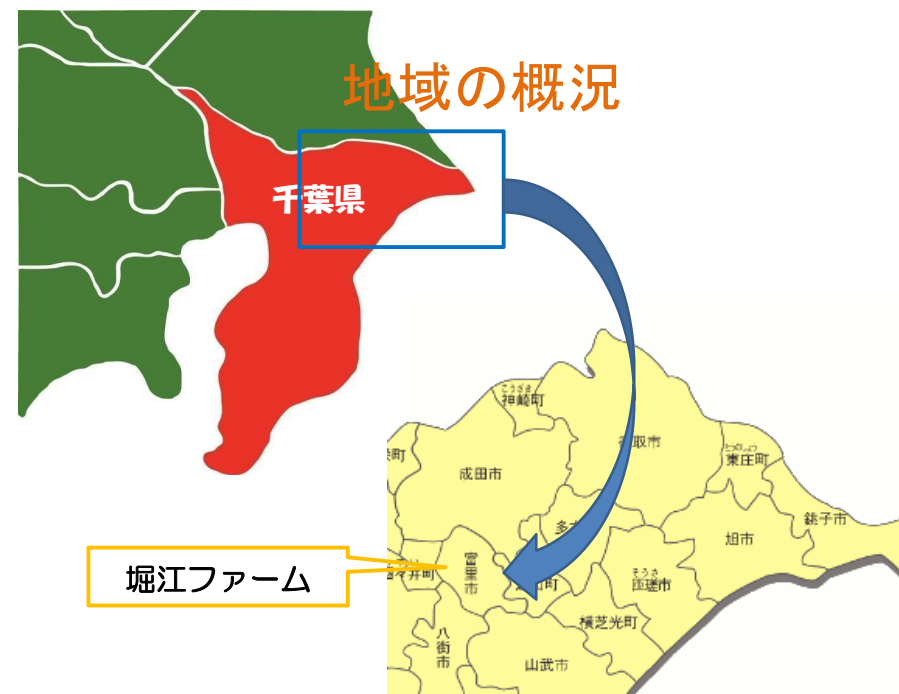


～ 千葉ヨーク ～



千葉県



- 種豚の改良増殖が基本
- 肉豚1頭当たりの付加価値を高める生産
～ 幻の豚 中ヨーク(千葉ヨーク)の復活 ～

- ・(社)日本種豚登録協会指定種豚場の認定
(現:(一社)日本養豚協会)
- ・(社)千葉県養豚協会が実施する産肉能力検定
(現:千葉県自家検定推進協議会)
- ・千葉県系統豚増殖農場の指定
- ・共進会への積極的な参加

(社)日本種豚登録協会指定種豚場の認定 (現:(一社)日本養豚協会)

- 昭和44年、全国の子取り用めす豚戸数は
233,200戸
(農林水産省「畜産統計」)
- このうち種雌豚の指定種豚場の認定を受け
た農場数は963件
(一社)日本養豚協会資料)全体の0.4%

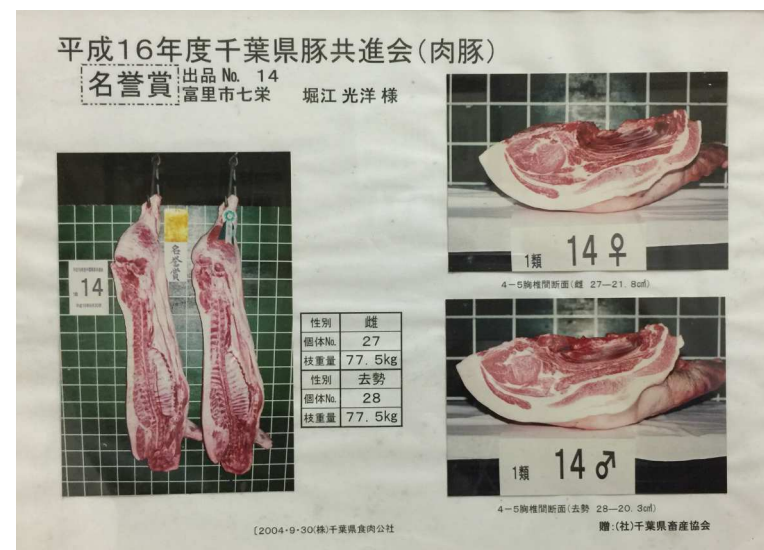
(社)千葉県養豚協会が実施する 産肉能力検定 (現:千葉県自家検定推進協議会)

- ・調査豚の子豚をと畜して母豚の能力を測定
- ・1日平均増体量、飼料要求率、と体背腰の長さ、ハムの割合、背脂肪の厚さを測定する

千葉県系統豚増殖農場の指定



共進会への積極的な参加



肉豚1頭当たりの付加価値を高める 生産のために

- ・加工品の販売
- ・エコフィードへの取組み
- ・ブランド豚の生産
- ・更なる付加価値生産を求めて

加工品の販売(1)



加工品の販売(2)



加工品の販売(3)



加工品の販売(4)



エコフィードへの取組み

- 飼料費軽減への取組み
- エコフィード認証を受けた飼料の利用
- 排出先から給与まで衛生的な管理の実施

飼料費軽減への取組み

千葉県立農業大学校にて2年間試験を実施

表3 肉質調査結果

	平均値±標準偏差		
	0%区	30%区	50%区
加熱損失(%)	25.1±2.3	28.3±2.3	26.0±2.2
水分含量(%)	73.5±1.0	74.0±1.3	72.4±1.4
伸展率(cm/g)	33.3±3.7	30.0±3.6	35.2±3.2
加圧保水力(%)	84.5±4.8	81.1±2.4	85.7±3.3
圧搾肉汁率(%)	49.2±2.7	48.8±1.2	49.6±3.2
せん断力値(lb)	8.1±2.4	7.7±1.0	6.0±1.2
せん断力値(kg)	3.7±1.1	3.5±0.5	2.7±0.6
肉色(L)	52.0±2.8	52.1±3.9	53.6±1.5
肉色(a)	8.1±1.4	9.5±0.7	8.9±0.8
肉色(b)	3.7±1.1	4.0±1.0	4.0±0.7
脂肪色(L)	78.5±0.9	79.4±1.0	79.7±1.0
脂肪色(a)	4.4±1.0	3.3±0.8	2.2±0.5
脂肪色(b)	3.8±0.4	3.7±0.2	3.2±0.4

表4 飼料要求率 (kg)

	0%区	30%区	50%区
飼料摂取量	1,771	1,789	1,701
合計増体重	556.8	556.5	498.5
飼料要求率	3.2	3.2	3.4

表5 各試験区の飼料摂取量と飼料費

	摂取量(kg)	飼料費(円)
0%区	1,771	70,840
30%区	1,789	55,459
50%区	1,701	42,525

エコフィード認証を受けた飼料の利用



排出先から給与まで衛生的な 管理の実施

《排出先》

- ・容器に入れて特定の保管庫へ冷蔵・常温に分けて保管

《排出先→製造所》

- ・輸送は原料に応じて冷蔵車を使用。また、臭いや内容物の飛散防止策を講じ、日を置かず乾燥処理

《製造所→農場》

- ・紛体飼料(ドライ)をフレコン詰めで納品、農場の保管庫へ保管又はすぐに自家配合

《農場》

- ・保管された紛体飼料はすぐに又は短期間のうちに自家配合し自動給餌



ブランド豚の生産



更なる付加価値生産を求めて

「とんかつ まい泉」オリジナル豚肉
“甘い誘惑”の誕生！！





＜試食会＞
堀江親子(左)・岡本社長(中)・
千葉ヨーク振興協議会高橋会長
(右)

生産農場の視察「まい泉」関係者



食品リサイクルループの完成



今後の課題と目指す方向性

- ①飼料高騰に伴う経営の圧迫
- ②市街化に伴う周辺環境への配慮
- ③養豚家としてできる限りの事をする